

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ふるさと産品協会支援事業			会計	款	項	目	大	事	小	事
政 策	05	5 節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課						
施 策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎						

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	商工団体、観光関連団体、市民（市内外）	意図	地場産業の発展と産品による観光資源の拡充を図る。
事業内容	市民まつりや各種イベントでの出品・販売を通じて流山市のPRに努め、また新製品の開発や新たなふるさと産品の認定など地場産業の振興と、土産品として観光振興に繋げるなど、ふるさと産品協会が行う事業を支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	会員の増強や新商品の開発を進めた結果、現在では認定品数も38品となり、市民まつりや各種イベントで販売することが出来ている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ふるさと産品協会会員数	14	12	11	社	▲▲
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	554,490	501,430	499,590
事業費(b)(円)	400,000	350,000	350,000
うち一般財源	400,000	350,000	350,000
職員給与費(c)(円)	154,490	151,430	149,590
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.01	0.01	0.01
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

ここ数年の会員数は、新規会員が無く減少が続いている。その要因は、従来の事業を実施しているのみで、新規事業など新たな試みがされていない。また、当該協会自体に入会することで、目に見えるメリットが感じられないことが大きな要因である。

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	ふるさと産品の更なるPR支援	③取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力的な新商品の開発</li> <li>業種の異なる事業者の参入</li> </ul>
②H30に実施した取組(Do)	市内のイベントに参加し、ふるさと産品のPR並びに販促に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光協会との統合による推進体制の強化</li> <li>商品や販売方法のブラッシュアップ事業</li> </ul>